

こけたら 立ちなはれ 立ったら、歩きなはれ

「こけたら、立ちなはれ。立ったら、歩きなはれ。」松下

学校教育目標

「人を大切に、物を大切に、時を大切に」
～発信力・行動力を身につけ、
自己肯定感を得られる生徒の育成～

幸之助さんの言葉です。我々の世代の多くは「松下幸之助」という名前を知っています。現在のパナソニック（旧「松下電器産業」）を一代で築き上げた経営者で、彼の経営哲学や人生観は経営者だけではなく、多くの人々の生き方に影響を与えています。家計を助けるために尋常小学校を退学し、9歳で火鉢屋に丁稚奉公に出されました。その火鉢屋も3ヶ月で店をたたんだので、次は自転車屋に6年勤めました。自転車屋で仕事をしながら、世の中に何が必要なのかずっと考えていたそうです。「(大阪市が計画中の)電車ができたら今に自転車の需要は減るだろう。この反対に電気事業は将来非常に有望だ。転業しよう。」彼は、弱冠16歳ながらしっかりと電気の未来を見ていたのです。見習工として勤めた大阪電灯という会社で技術を身につけ、一念発起し、起業する決意をしました。しかし、機械を買うお金もありません。何とか友人から100円を借り、たった2畳ほどの小さな会社を立ち上げました。これこそが現在のパナソニックのスタートとなりました。この後も順風満帆の経営ではなく、失敗の連続だったようです。でも「こけたら、立ちなはれ。立ったら、歩きなはれ」。人生、楽しいことやうまくいくことばかりではない。むしろ、辛いことやうまくいかないことのほうが多いもの。うまくいかず、そこで諦めればそれで終わりです。「失敗すればやり直せばいい。やり直してダメなら、もう一度工夫し、もう一度やり直せばいい。」「誰でもそうやけど、反省する人は、きっと成功する。本当に正しく反省する。そうすると次に何をすべきか、何をしたらいかんかということが、きちんとわかるから。それで成長していくわけや、人間として。」こういった松下幸之助さんの残した言葉から共通したものが感じられると思います。夏休みや2学期に向けて自分自身の1学期の生活や学習を振り返ってみてください。



夏季大会 明日からも大会は、続きます。

3年生にとっては、最後の大会となります。家族、仲間、先生、今まで支えてもらった多くの人たちへの感謝の気持ちをもち、全力を尽くしてください。今大会は、感染拡大防止対策として、「無観客」で開催されます。保護者の皆様方、ご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

